

令和3年度 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会山梨県大会
【大会要項】

- 1 主催 (一社)山梨県バスケットボール協会・山梨県高等学校体育連盟
 2 主管 (一社)山梨県バスケットボール協会・山梨県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
 3 後援 山梨県教育委員会
 4 協賛 ㈱モルテン・㈱ミカサ
 5 期日 令和3年10月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)
 6 会場 富士北麓公園体育館 [A・B 男、準決勝、決勝戦] (10/23, 24, 30, 31)
 北杜市大泉体育館 [C・D 男] (10/23, 24)
 北杜市高根体育館 [E・F 男女] (10/23, 24)
 長坂総合スポーツ公園体育館 [G・H 女] (10/23, 24)

7 競技開始時刻

	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
10/23、10/24	9：00	11：10	13：20	15：30
10/30(準決勝)	10：00	12：40		
10/31(決勝)	10：00	12：40		

8 参加資格

- (1) 2021年度山梨県高等学校体育連盟に加盟し、(公財)日本バスケットボール協会に加盟・登録が完了した高等学校単一チームであること。
 (2) 平成14年(2002年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
 (3) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 (5) 部員不足による合同チームの大会参加運営細目に該当し申請があった場合、合同チームによる大会参加を認める。
 (6) 転校(転籍)後6か月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
 (7) 参加資格の特例
 ① 上の8-(2)に定める生徒以外で、当該要項の大会資格を満たすと判断され、山梨県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 ② 上の8-(2)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- a. 学校教育法第124条、134条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
 b. 以下の条件を具備すること。
 ア. 大会参加を認める条件
 a) 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年の活動を理解し、それを尊重すること。
 b) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 c) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていないこと、運営が適切であること。
 イ. 大会参加に際し守るべき条件
 a) 山梨県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 b) 大会参加に際しては責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 c) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
 (8) 参加制限【外国人留学生の出場枠について】
 ① 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 ② 在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
 ③ 平成14年(2002年)4月2日以降に生まれた者とする。
 ④ 短期留学生は除く。
 ⑤ 人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。

9 引率

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、コーチ又はアシスタントコーチを兼ね、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
 (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。ただ、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は山梨県高体連会長に事前に届け出ること。

(3) コーチ又はアシスタントコーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はJBA公認コーチ登録を完了し、傷害賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。

10 チーム編成

コーチ1名・アシスタントコーチ1名・学校関係者1名・マネージャー1名・選手18名、合計22名を上限とする。

11 競技規則

(1) 「2021 バasketボール競技規則」による。

(2) 大会使用球は、株式会社モルテン製 男子 B7C5000、女子 B6C5000 または株式会社ミカサ製 男子 CF7000、女子 CF6000 とする。

12 競技方法

参加チームによるトーナメント戦方式優勝戦とし、3位決定戦は実施しない。

13 表彰

男女とも3位までを表彰する。なお、表彰式は各試合終了後に行う。

14 表彰式

準決勝、決勝戦が終了後、その場で行う。

15 組合せ会議

令和3年9月16日(木) 15:00～ 石和スコレーセンター
各チームの部顧問の抽選による。

16 競技上の注意事項について

(1) ベンチは組合せ番号の小さいチームをコートからテーブルオフィシャル席に向かって右側とする。

(2) ユニフォームは原則として、組合せ番号の小さいチームが、白色を着用する。

(3) 第1・第2クォーターに攻撃するゴールは、相手チームのベンチ側とする。

(4) 競技開始時刻は原則として定刻とする。ただし、前の試合が遅れたコートに最低でも10分間の練習時間を確保する。大会2日目は第2試合目の両コートの開始時刻を合わせる。

(5) 自チームのメンバー表を、会場入りしたら速やかに大会本部と相手チームに提出する。

(6) 棄権する場合は、大会開始の3日前までに専門委員長と相手チームに必ず連絡する。ただし、新型コロナウイルス感染症に関わる棄権の場合は、この限りではない。

※無断で棄権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。

(7) 選手による、アップ時の声出しと競技中の声出し応援は禁止とする。

(8) コート上でプレーをしている選手以外はマスクの着用を義務付ける。ただし、プレイヤーから交代要員になった選手は、息が整ってからマスクを着用する。

(9) 試合の速やかな進行に心がける。

17 テーブルオフィシャル(以下TO)

(1) TOは大会ごとにTO部が定めた計画に従って行う。

(2) 原則としては次の通りを行う。

①各試合日について、各コートの最初の試合は、その試合から1試合あとの両チームが分担して行う。

②各コートの2試合目以降は、前の試合の負けチームがそのコートの次の試合のTOを行う。

18 諸注意

(1) JBAの新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインと専門部作成の申し合わせ事項を徹底する。

(2) 無観客試合のため体育館に入館できるのは、上の10に定める人員、チーム部員、大会役員、審判員とする。

(3) 各会場ともに、上下履きの区別を徹底する。

(4) 貴重品の管理は、各チームで行う。

(5) 会場及び、会場校に迷惑がかからないように心がける。

※無観客試合である旨を、各チームでも保護者会や卒業生等へ連絡をお願いします。

19 各会場の担当責任者

月日	会場名	記録・報道	競技	会場・コロナ感染対策
10月23日	北麓(AB)	武井祐樹(興譲館)	浅川啓太(駿台)・小池教之(農林)	古屋卓人(興譲館)・金井巖裕(白根)
	大泉(CD)	齋藤拓巳(昭和)	浅川敏学(甲府一)・秋山すみ江(身延)	上村洋一(北杜)・宮下敏治(笛吹)
	高根(EF)	永井宏和(笛吹)	中澤良太(駿台)・大塚達博(甲府一)	白倉一穂(北杜)・村松優(都留)
	長坂(GH)	宮久保純子(青洲)	古屋勝規(甲府商)	古屋勝規(甲府商)・佐野勇太(河口湖)
10月24日	北麓(AB)	武井祐樹(興譲館)	山貝 健(富士学)・山本大輝(河口湖)	古屋卓人(興譲館)・金井巖裕(白根)
	大泉(CD)	齋藤拓巳(昭和)	植松光和(韭崎)・長谷部竜巳(韭崎工)	上村洋一(北杜)・宮下敏治(笛吹)
	高根(EF)	永井宏和(笛吹)	中澤良太(駿台)・大塚達博(甲府一)	白倉一穂(北杜)・村松優(都留)
	長坂(GH)	宮久保純子(青洲)	羽田雅音(富士学)・天野秀美(航空)	古屋勝規(甲府商)・佐野勇太(河口湖)
10月30日	北麓(AB)	武井祐樹(興譲館)	古屋勝規(甲府商)・白倉一穂(北杜)	宮下敏治(笛吹)・金井巖裕(白根)
10月31日	北麓(A)	武井祐樹(興譲館)	古屋勝規(甲府商)・古屋卓人(興譲館)	宮下敏治(笛吹)・金井巖裕(白根)

連絡責任者 専門委員長 宮下 敏治
勤務先(笛吹高校) ☎055-262-2135
携帯電話 ☎090-3510-5098